

ニカラグア内政・外交定期報告(2012年5月・6月)

2012年7月

在ニカラグア日本国大使館

1. 内政

(1) 11月の統一地方選挙関連

(イ) 5月4日、リバス最高選管(CSE)委員長は、CES に登録され政党法人格を有する18の政党全てが、11月の統一地方選挙への参加意志を表明した趣意書を CES に対し提出したことを明らかにした。これにより、サンディニスタ民族解放戦線(FSLN)、立憲自由党(PLC)、独立自由党(PLI)をはじめとする主要政党の他、保守党(PC)、ニカラグア自由同盟(ALN)、共和国の同盟(APRE)やその他小政党(UDC、MUC、CCN、PRN、Yatama、AC、PLN、PAC、Pamuc、PIM、Pali、PUCA)が選挙参加を表明したことになる。

(ロ) 5月15日、国会は、選挙法改正法案を可決した。これにより、正副市長の連続再選が可能となり、市議会議員数も3倍となることとなった。

(ハ) 5月29日、最高選管(CSE)は県レベルに該当する地方選管(CED)及び地域選管(CER)の委員を任命した。

(ニ) 5月31日、地方自治法改正が行われ、市会議員数の増員及び市議会内に拡大地方自治評議会の新設等が承認された。

(2) その他

(イ) 5月1日、トマス・ボルヘ駐ペルー大使の国葬を国立宮殿にて催すとともに、同3日までを国喪期間と定めた。

(ロ) 6月5日、オルテガ大統領は、ニカラグア南部において運河建設を行うための法整備及び公的機関設立等に関する法案を国会に提出した。

(ハ) 6月12日、国会は、財務省管下にマネーロンダリングを監視・調査するための専門機関(金融分析ユニット(UAF))の設立及び同機関の権限等を定める金融分析ユニット設立法案を可決した。

2. 外交

(1) 5月1日、サントス外相はニーニスト・フィンランド大統領、トヨオミオヤ外相等と会談した。

(2) 5月3日、パワーズ新米国大使、バルマ新インド大使(パナマから兼轄)及びバーゲン新ノルウェー大使が、オルテガ大統領に対して信任状を捧呈した。

(3) 5月7日、ニカラグアを訪問したカバジェロス・グアテマラ外相は、サントス外相と会談し、今後の経済関係強化に向けて両国間の投資や貿易を促進することで一致した。また、両国関係強化のため、今後適当な時期に二国間委員会を設置することに合意した。

(4) 5月20日、ハレスレーベンス副大統領は、台湾総統・副総統宣誓就任式典に出席し、翌21日には、馬英九総統と会談した。

(5) 5月22日、オルテガ大統領は、ダニーロ・メディーナ・ドミニカ(共)大統領候補の当選に際し、

祝辞を送った。

- (6) 5月24日、グラネラ国家警察庁長官は、中米・メキシコ・カリブ海・コロンビアの警察庁長官委員会の新委員長に任命された。
- (7) 5月29日、ニカラグアを訪問したサエイドロ・イラン副大統領は、オルテガ大統領と会談し、会談終了後の記者会見で、今後の二国間経済関係強化のため、イラン政府がニカラグア政府の債務(約164百万米ドル)を免除することを決定したこと、及び、約250百万米ドルの有償資金協力をを行う予定であることを明らかにした。
- (8) 6月4日、ムリージョ大統領府市民問題・広報担当審議役は、新駐ペルー・ニカラグア大使に、トマス・ボルヘ前大使の未亡人であるマルセラ・ペレス・リバス氏を任命する旨発表した。
- (9) 6月5日、コチャバンバで開催された第42回米州機構(OAS)総会の場で、ニカラグアは、ボリビア、ベネズエラ、エクアドルと共に、米州共同防衛条約(TIAR)からの脱退を表明した。
- (10) 6月6日、メキシコ政府は、オラシオ・ブレネス前大使の未亡人であるタマラ・ハウキンス新駐メキシコ・ニカラグア大使にアグレマンを与えた。
- (11) 6月8日、コロン副外相は、ベルギーで開催された両大洋間運河及び海上貿易に関する国際会議に出席し、ニカラグア運河計画の概要に関するプレゼンテーションを行うとともに、フィジビリティスタディーに関してオランダの港湾及び海運分野の有力企業と会談した。
- (12) 6月14日、当国を訪問したアーサリン・カズン国連世界食糧計画(WFP)事務局長は、ヌニェス国会議長及びサントス外相と会談し、食料安全保障等について意見交換した。
- (13) デンマーク大使館は、6月14日を以て閉鎖した。
- (14) 6月21日、ALBA各国は、パラグアイにおけるルゴ大統領罷免が民主主義手続きに則ったものでないとして非難するとともに、パラグアイ国民によって合法的に選出されたルゴ大統領に対する連帯を表明し、憲法を逸脱した新たなクーデターの手法によりパラグアイ議会において選出されたフランコ大統領を承認しない旨表明する、とのコミュニケを発出した。
- (15) 6月21日、当地米国大使館の報道官は、同大使館がニカラグア政府に対し、米務省が「財政の透明性」に関するウェイバーの更新申請を行わなかった旨通告したことを明らかにした。
- (16) 6月29日、オルテガ大統領は、ホンジュラスで開催された第39回 SICA 首脳会合に出席した。ニカラグアは、本年下半期の SICA 議長国となった。

(了)